

## マイクロアグレッションは、自覚なき差別につながっている

### ジェンダーの差別

昇進したんだ。  
うちの会社に  
女性登用制度が  
あってよかったね。

自分の努力  
なのに…



左のイラストの女性は悲しそうな顔をしています。こんな言葉を投げかけられた人はどんな気持ちになるでしょうか。少し考えてみませんか。

自分の努力や成果を認められていないと感じるかもしれません。それだけでなく、職場全体の雰囲気や協力関係が損なわれる可能性もあります。

全ての働く人が性別に関係なく、公平に評価される職場風土を作ることが大切です。

### 部落差別

無知や誤解は、自覚なき差別につながります。自分が聞いたことがないからといって部落差別を今は無いものとして扱うことは、差別に苦しむ人の存在を無視することにつながります。

近年もインターネット上の被差別部落に関する差別的な書き込み等の人権侵害が後を絶たず、今もお苦しんでいる人がいます。福岡県による調査では、2020年7月から2023年3月までに計4782件ものインターネット上の部落差別に関する差別的な投稿が確認されました。

部落差別って  
もう過去の話  
だよ。

今も苦しんでいる人  
がいるのに…



### 「差別されない権利」を認めた画期的な判決

2016年に戦前の被差別部落の状況をまとめた「全国部落調査」の復刻版を発行しようとし、また、インターネット上に地名を公開したことについて、部落差別の助長・拡散につながるとして出版の差し止めや公開された情報の削除などについて争われた裁判が行われました。

2023年6月に東京高裁が、幸福追求権及び平等権の侵害があるとして、「差別されない権利」を憲法13条、14条1項に由来する一般的な権利内容として認め、出版禁止やインターネットに公開された地名に関する情報の削除を命じました。さらに、2024年12月に、最高裁判所が原告側と出版社側双方の上告を退けたことにより、東京高裁判決が確定しました。「差別されない権利」を認めたこの裁判の判決は、今後の差別のない人権尊重社会の実現に向けて大きな意義があるものといえます。

※憲法13条(幸福追求権):すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。

※憲法14条1項(平等権):すべて国民は、法の下に平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。

## 年齢の差別

年齢によって、その人の能力は決まってしまうものなの  
でしょうか。

「高齢者はパソコンが苦手」と年齢でひとくくりにして  
考えたり、「新人にしてはやるな」と若いだけで未熟だと  
思ったりした経験はありませんか。

何気なく放ったその一言が、その人の個性や能力を否定  
し、嫌な思いをさせているかもしれません。

パソコン作業難し  
いでしょ。私がして  
おくからいいよ。

そのくらい自分で  
できるのに…



## 外国人の差別

生まれも育ちも  
日本なのに…

おはしの使い方  
上手だね！



外国人の方と出会った時、「日本語はしゃべれない」と  
思ったことはないでしょうか。

人種や容姿からは、その人の国籍や能力、文化の背景は  
わかりません。相手をほめたつもりでも、「対等に接しても  
らえない」「異質な存在として扱われている」と傷つき、  
疎外感を感じている人がいるかもしれません。

外見や国籍だけで決めつけるのではなく、一人の人間と  
して尊重し、接することが大切ではないでしょうか。

## マイクロアグレッションを防ぐために、私たちにできること

伝える前に、立ち止まって、  
相手の気持ちを考えよう



相手の表情を見て  
言葉や態度をふり返ろう



もしマイクロアグレッションに気づいたら、「どうしてそう思うの？」と声をかけ、対話しましょう。  
(偏見に気づくきっかけになる)



一人一人が相手の立場を考え、相手のことをもう少し知ろうとするだけで、  
お互いに個性や違いを尊重しあい、誰もが住みやすい街になります。  
今日から、自分の言葉や態度をちょっとふり返ってみませんか。